

## 2. 愛知県維管束植物分布表

一般的に言えば、維管束植物が多く生育している山間部は人口密度が低いため市町村の面積が広く、維管束植物が少ししか生育していない名古屋近郊は人口密度が高いため市町村の面積が狭い。そのため維管束植物の分布調査では、行政区画をそのまま調査単位として使用することができない。そこで今まで私たちは、約 100km<sup>2</sup>を基準に、面積の広い市町村は分割し、面積の狭い市町村は統合し、県内を 58 区画に分けて調査してきた。しかし行政上は、現行市町村単位で情報を整理しておく方が、何かと好都合と思われる。帰化植物等一部の植物は、むしろ名古屋市やその周辺に多く生育していることもある。そこで今回の分布表は、従来の 58 区画を基本に、複数の現行市町村を含む区画 32 (刈谷市、知立市)、34 (高浜市、碧南市)、37 (瀬戸市、尾張旭市)、38 (長久手市、日進市)、39 (東郷町、豊明市)、40 (大府市、東浦町)、41 (東海市、知多市)、42 (阿久比町、半田市、武豊町)、44 (美浜町、南知多町)、46 (扶桑町、大口町、江南市)、49 (岩倉市、豊山町、北名古屋市、清須市)、56 (あま市、大治町)、57 (津島市、愛西市)、58 (蟹江町、弥富市、飛島村) はそれぞれを更に現行市町村に分け、枝番 a~d を付けて表示した。

基礎とする資料は、原則として公開されている標本室に台紙に貼られ、種類ごとに整理された状態で保管されている (つまり、いつでも検証可能な) 標本に限定し、原則として未整理標本、文献記録等は掲載しなかった。ただし例外として、現在瀧崎の手もとに保管されている豊橋市立自然史博物館収蔵予定の標本は、同館の受け入れ体制が整っておらず整理が滞っているため、収録することにした。また、巻末の引用文献に掲載した小林元男氏の東三河関連の一連の著作に掲載されている記録は、愛知県植物誌調査会が発足して間もない頃標本整理が追いつかず、東三河の普通種標本の一時保管を小林氏に依頼してしまったという事情を考慮し、収録することにした。また、新城市立鳳来寺自然科学博物館に保管されている故鳥居喜一氏採集の標本も、種類ごとに整理されておらず利用しにくい、一部引用することにした。

標本の所在は、以下の略号で示した。

A : 愛知みどりの会標本室 (AICH)

C : 千葉県立中央博物館

E : 愛知教育大学生物学教室

I : 東京大学総合研究博物館 / 東京大学大学院理学研究科付属小石川植物園 (TI)

K : 京都大学総合博物館 / 京都大学大学院理学研究科植物学教室 (KYO)

H : 新城市立鳳来寺自然科学博物館

N : なごや生物多様性センター (近日中に収蔵予定で、現在は村松の手もとで保管されているものを含む)

M : 首都大学東京牧野標本館 (MAK)

S : 国立科学博物館植物研究部 (TNS)

T : 豊橋市立自然史博物館 (TMNH-B 将来収蔵予定で、現在は瀧崎の手もとで保管され

ているものを含む)

\*：小林元男氏の東三河関連文献に記録されている区画（区画 6 と 7、区画 8, 9, 10 はそれぞれ設楽町旧町域、旧鳳来町として一括して示されているため、設楽町旧町域は 6 と 7、旧鳳来町は区画 8, 9, 10 のどの区画の標本もないものだけに限り、便宜的にそれぞれ 6 と 8 の欄に\*をつけて表示した）

各標本の詳細な採集地、採集年月日、採集者とその標本番号は省略した。これらの情報が必要な場合は、それぞれの標本保管施設で直接標本にあたって確認してほしい。

その区画が本来の分布域ではなく、何らかの人為に伴って移入されたと判断されるものは、標本収蔵機関に i を付けて表示した。ただし、県内に自生するが植栽もされている一部の植物については、おそらく逸出と思われても i を付さなかった場合がある。

なお、私たちは最近 25 年ほどの間にそれなりに注意して標本を集積してきたつもりであるが、ある程度普遍的に分布している植物については、見ても標本を作成していないものが残されている。東大、京大、国立科学博物館等に収蔵されている愛知県産の標本も、必要に応じて確認しただけで、全部チェックしたわけではない。つまり今回の分布表は、「少なくともこれだけの標本はある」という性格のものである。特に今回枝番を付して分割した区画は、従来調査ではその中で 1 点標本を採取すればそれ以上採集しなかったため、分布表としては極めて不完全である。利用する際には、同一幹番の枝番 a~d のいずれかの区画の標本があれば、他の枝番区画にもその植物が分布する可能性が高いと考えてほしい。今後できるだけ補充調査や未貼付標本の整理などを進めて、グリーンデータブックを改訂するごとに、より完全な分布表に近づけていくようにしたい。